

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院消化器外科に、早期胃癌で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学外科学第2講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

早期胃癌に対する術後再発リスク因子に関する後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学外科学第2講座 講師 尾島 敏康

3. 研究の目的

早期胃癌の術後再発・合併症、術後の臨床経過に関して後ろ向き観察研究において検討します。術後再発リスク因子の解析を行うことによって、術後補助療法などの後治療の必要性・有用性を検討し、早期胃癌の治療成績の向上につなげることを本研究の目的とする。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

早期胃癌の患者さんで、1999年1月1日から2013年12月31日までの期間中に、和歌山県立医科大学第2外科にて胃切除術を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、術後合併症発生頻度、手術経過、術後経過、術後再発や再発形式の検討、生存率に関する情報です。

(3) 方法

早期胃癌に対して手術治療を施行した1001例を対象に患者背景 手術成績 長期成績（再発の有無）を調査します。術式別に統計学的な解析を行います

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺811-1

和歌山県立医科大学外科学第2講座 担当医師 竹内昭博

TEL : 073-441-0613 FAX : 073-446-6566

E-mail : a-take@wakayama-med.ac.jp